

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農業委員会事務局		■担当係	農業振興係
■評価事業名称	きたかみ農業フォーラム開催事業			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	520100 - 076	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上		
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	近年、経済の国際社会化や少子高齢化が急速に進展する中で、農業の担い手の減少や農業従事者の高齢化、食料自給率の低下など、農業を取り巻く環境変化により多くの課題を抱えている。このことから、農地の有効利用や担い手の確保・育成により、将来に希望の持てる快適な農村生活・農業経営の確立を築くことを目的に開催するものである。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	きたかみ農業フォーラム開催事業	農業者	①期日 H27.11.29(日) ②場所 日本現代詩歌文学館「講堂」	①期日 H27.11.29(日) ②場所 日本現代詩歌文学館「講堂」 ③参加者 212人 ④事業費 325,383円(農政調査会より支出。市一般会計からの支出なし)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	195				
人件費	3,068	3,664	2,315	3,351	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,263	3,664	2,315	3,351	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	フォーラム開催事業への参加者数	219人	214人	291人	212人	フォーラム参加者数
02	開催回数	1回	1回	1回	1回	開催数

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

03	フォーラム開催事業への参加者数	219人		指標コード01と同じため、削除	指標コード01と同じため、削除	認定農業者等の人数 500人×0.2=100人・主催者44人・一般76人
04	参加者一人当り経費コスト			削除	削除	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

25回目の節目として、今までのフォーラムの振り返りと、農業者を元気にするため、落語を取り入れた笑いのある講演会を実施した。堅苦しくなくて楽しい講演だったという参加者の感想が多かったことから、概ね順調に実施できた。

問題点・課題等

農業委員会の制度改正により、フォーラムの実施の仕方を検討する必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

他市の農業者表彰の状況を確認し、表彰の在り方も含めて、フォーラム全体の内容を検討する必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了